

二敵ノP.及ヒFieldersヲ牽制シテ味方ノ打手ヲ助クル
ニアリ故ニI.P.ニアラハベ―すヲ離ル、コト一間餘常
ニP.ノ舉動ヲ注視シ且ツI.B.ヲシテ一步モベ―すヲ離
ル、能ハサルカ如クスヘシP.若シI.B.ニ投スルノ心ア
ルヲ視バ直チニI.B.ニ歸リ打手ニ投セントスルヲ見ハ
直チニ2.B.ニ急走セヨ是ヲP.の運動を盗むト稱ス運動
ヲ盗ムコト巧妙ナラバ概テ2.B.ヲ盗ミ得ヘシ然レトモ
敵ノP.C.及ヒ2.B.ノ連鎖堅クシテ2.B.ヲ盗ム能ハスノハ
常ニ是ヲ盗ムノ擬勢ヲ示シテ牽制ヲ怠ルコト勿レ已
ニ2.B.ニ至ラハ3.B.ハ容易ニ盗ム能サルカ故ニ最モ勉ム
ベキハ内野ノ中心タル2.B.ヲ其ベ―すニ固定セシメテ

内野手一人ヲ疎シ以テ打手ヲ助クルコトナリ常ニP.
 ノ運動ヲ盗ミ其打手ニ投スル毎ニ2.B.ヨリ進ムコト六
 七間ニシテC.ノ一小失ニモ直チニ乗シ得ベキ姿勢ヲ
 取ラハP.ト2.B.トヲ牽制シ得テ打手ノ便甚タ大ナラシ
 已ニ3.B.ニ遠スルモ猶牽制運動ヲ怠ルベカラス初心ノ
 仕合ニ於テハC.ノP.ニ返ヘス球ノ高キニ失スルヲ見
 ハ直チニH.ヲ奪ヒ得ベキコト少シトセズ蓋シ高球ニ
 受クレバ急ニ投球スル克ハサレハナリ
挟マレシ時ノ心得 逡巡躊躇ハ大ニ忌ムベキナ
 云ヘリ然レトモ敵已ニ球ヲ手ニセルニ突進スレバ必
 ラス死スベキコト明ヲカナラバ止ムヲ得ス挟マレテ

萬一ヲ僥倖スベシ挟マレナバ決シテ周章スル勿レ悠
 然トシテ呼吸ヲ疲勞セシメサルニ注意セヨ暫クモ球
 ナ見失フコト勿レ而シテ敵ノ舉動ニ左右セラレヌ己
 レノ舉動ヲ以テ敵ヲ左右スルヲ勉メヨ常ニベイスハ
 何ノ邊ニアルヤヲ注意シ已ニ三四間以内ニ達セルモ
 追ヒ來レル敵未ダ投セズンハ俄然ベイスニ猪突セヨ
 多クハ一生ヲ完フセン

迂り方及ヒ飛び方 ベイスヲ盗ントシテ球ノ

己レヨリ速カニ到着スベキヲ見ハ迂ルヲ可ナリトス
 迂ルニハ頭ヨリスル者ト足ヨリスル者トノ二者アリ
 頭ヨリスル者ハ右手ヲ先キニシ少シク躰ヲ斜メニス

足ヨリスル者
ハ亦敵ノ爲メ
ニ身ヲ止メ
ラレサル利
アリ
井上匡四郎

百七十八
ルモ可ナリ又両手ヲ揃ヘテ平臥スルモ可ナリ顔ヲ傷
フノ虞アレトモベイスヲ攫ムノ便アリ足ヨリスル者
ハ兩足ヲ揃ヘテ仰臥スベシベイスヲ取り外スノ虞ア
ル故ニ於テノ外ハ其用ナシ而シテ二法共ニ迂ルニ
近キモ三間遠キハ五間ノ所ニ於テ急走セル全躰力ヲ
加ヘテ突然臥伏セバ躰ハ自ラ前進セシ此際少シナリ
トモ恐怖躊躇ノ情アラハ必ラス失アツシ宜シク勇往
猛進スベキナリ迂リ方ノ利ハ身躰地ニ接スルカ故ニ
敵ノ球ヲ付クルニ不便ナルニアリ速力ノ利アリトハ
非ナリ故ニ1.8.ノ如ク踏ミ越スモ害ナキ者ニハ迂ラサ
ルチ利アリトス又若シ敵手常ニ両手ヲ非常ニ低クシ



ルニニ2.8.者走

テニルヲ妨クルノ癖アラバ將サニ球ニ觸レントスル
時敵ヲ飛越セヨ是レ近時ノ發見ニシテ功ヲ奏スルコ
ト屢々ナリ

仕合ノ練習

仕合ノ練習ニハ二法アリ其一ハ各人各其定位ニ就キ
H. ヨリシテ一人各種ノ球ヲ打テ撰手ハ是ヲ受ケテ或
ハ I.B. ニ投シ I.B. ハ直チニ 3.B. 又ハ H. ニ投シ或ハ ベー
ストノ間隔ヲ投ケ試ムルナリ此法ニハ P. ト C. ト
ハ加ハラスシテ別ニ練習ス第二法ハ攻守共ニ練習ス

ル者ニシテ各員其定位置ニ就キ順チ追フテP.ノ投球
チ打チ恰モ仕合ノ如クスルナリ或ハ打テル者ハ直チ
ニ1.B.ニ走り2.B.ヨリ順次一周スルコト全ク仕合ノ如ク
スルモ可ナリ是レ *Roundings* ト稱スル法ニシテ補助三
四人ヲ要ス

打手ノ順序

普通ノ場合ニ於テハP.ヨリ順次ニ打ツチ常トス然レ
トモ慎重ナル仕合ニハ打手ノ順チ定ムルノ要アリ二
法アリ一ハ全軍ノ良打手ヲ悉ク先鋒ニ萃メテ一擧敵
廢チ奪フノ略ナリ初心ノ仕合ニハ此法ヲ可ナリトス

第二法ハ是ヲ均分ニ分配スルナリ打手ノ順チ定ムル
ニ最モ重ソスベキハ開始ノ打手ナリ是ニシテ死セハ
大ニ士氣ニ關スルカ故ニ二法何レチ取ルモ開始ニハ
全軍中打ち方及ヒ走り方ニ熟セル士ヲ推スベシ次ニ
珍重スベキハ左リ利キノ打手ナリ全軍中少クモ一人
ハ是アルチ要シ二三人アラバ更テニ妙ナリP.ハ投球
ニ苦シミC.ハ受け方及ヒ2.B.へ投スルニ苦ムカ故ニ左
リ利キノ打手ヲ第二又ハ第三ニ列シテ開始ノ打手ノ
走り方ヲ補助スルチ可ナリトス

勝利ノ原因

以上ノ各論既ニ技術上ノ事ヲ畧論シ悉セリ校内ニ於ケル仕合ニ於テハ是ニ熟セハ巳ニ勝ヲ制スルニ足ル然レトモ校際仕合ニ於テハ更ラニ數事ノ附言スベキアリ即チ撰手九人協同一致シテ相和協シ多少意ニ滿タサルカ如キコトアルモ校譽ノ係レルヲ鑑ミテ自ラ戒シムベシ是ヲ爲スノ法日夕野球場ニ會スルカ故ニ自ラ然ルベキモ若シ仕合ニ先タツ數日ノ間撰手寢食ヲ共ニスルヲ得ハ更ラニ可ナリ又撰手ノ撰擧ニ至リテハ全校又ハ全野球部ノ投票ノ如キ愚策ヲ取ル勿レ

部員中十日ノ見ル所十指ノ指サス所必ツス二三人ノ撰手タルベキ資格アル者アラソ此二三人ヲ指名シテ撰手九人並ニ補欠一人又ハ二人ヲ指名セシムベシ補欠員ニハ必ラス一人ノCアルヲ要ス是レCハ最モ負傷ノ恐レ多キヲ以テナリ撰手ハ校譽ノ係レルヲ以テ自ラ戒ムベキヲ云ヘリ然レトモ若シ其地方ノ習辦學業ノ程度ニ因リテ運動上ノ優劣ハ以テ校譽ヲ左右スルニ足ラストスル者アラハ如何如斯際ニハ宜シク仕合ヲ廢スベシ上ニモ論セラルカ如ク是レ青年ノ氣ヲ寓スル唯一ノ法ニハアラス但シ有形上ノ勝敗ハ青年ノ氣ヲ洩ラシ心ヲ勵マスニ

最適ノ法タルノミ故ニ若シ仕合ヲ以テ校譽ヲ賭セシ
ト欲セハ管ニ撰手ノ奮勵スルノミナラス校友タル者
ノ任モ亦輕カラサルナリ撰手練習ノ際ニハ是ヲ見物
シ巧妙ナルハ賞讃シ拙劣ナルハ嘲笑セハ自ラ其効ア
ラシ然レトモ嘲笑ハ唯其場限リニ止メ慎シテ其技術
ニ干涉シ其任免ニ容喙スル勿レ而シテ全校ノ總代々
ル者ハ常ニ撰手ヲ慰問シテ全校是カ後援タルノ實ヲ
示サバ撰手ハ常ニ校譽ノ己レノ双肩ニ懸レルヲ知ラ
シ若シ夫レ仕合ニ當ツテハ全校大學シテ臨場シ味方
ノ功アル毎ニ拍手喝采スルハ可ナリ然レトモ慎シテ
敵ヲ嘲罵スル勿レ吾軍ノ少シク勝ニ乘スルヲ見ハ一

齊ニ是ヲ勵スハ大ニ機ヲ得タル者ナリ殊ニ校歌ヲ同
音ニ唱フルカ如キハ最モ宜キニ適ヘル者ナリ如斯セ
ハ庶幾クハ以テ仕合ハ撰手ノ仕合ニアラスシテ全校
ノ仕合ナリ勝敗ハ撰手ノ勝敗ニアラスシテ全校ノ勝
敗ナリ以テ彼我ノ校風ヲ較スベク以テ愛校ノ念ヲ養
フベク以テ校際仕合ノ實益ヲ擧クルヲ得シ

審判官

審判官ハ全場ノ君主萬事ノ總裁ニシテ一變生シ一故起ル毎ニ必ラス判決ヲ下サ、ルベカラス而シテ其判決ヤ始審ニシテ終審ナリ上ニ仰クベキノ師ナク下ニ諮ルベキノ幕僚ナク又考量スルノ餘裕アルコトナク變故ノ生スル毎ニ獨斷ヲ以テ迅速ニ宣告セサルベカラス若シ好惡ノ私意ヲ挾マハ優ニ其愛スル所ヲ勝タシメ其憎ム所ヲ敗レシムベク其地ヤ高ク其任ヤ重シP. 巧ヲ弄シ熱球風ヲ起シテ盤桓シ來ルC. 一步ヲ過タ

ハ球ハ審判官ヲ傷ケン目眩シ心憶セサル者ハ稀ナリ走者狂奔駿馬ノ如ク猛球倏忽砲丸ヲ欺ク走レル者早キカ飛ヘル者先ニ達セシヤ鬼神ト雖モ知ルベカラス雖レカ此早忙ニ際シテ炯眼精視斷決其當ヲ得ル者ツ兩軍正サニ好敵手一進一退シテ校友ノ聲援地ヲ撼カシ帽飛ヒ旗翻ルノ際泰然自ラ持シテ一糸亂レサル者ハ果シテ誰ツ衆論ニ惑ハス勝敗ニ鑑ミス唯我ノ視ル所ヲ宣告シテ撰手ノ心服ヲ欲ス蓋シ尋常ノ業ニアラサルナリ此局ニ當ル復自ラ其法アリ下ニ是レヲ畧述セシ

政令一途ニ出ツベキハ古今ノ通則ナリ然レトモ若シ

適當ノ審判官ヲ得ルニ苦マハ二審判官アルモ可ナリ
 此際ニハ一審判官ハ仕合ノ始終中止 *Strike* *Foul* 及ヒ
 H.ニ於ケル *Out* ナ主リ一審判官ハベイスニ於ケル *Out*
 ノミチ主トリ二人ノ所管ヲ全ク分離セシムンハ可ナ
 リ然レトモ此法ハ本邦ニ於テ採ラス又北米ニ於テモ
 採ラサルカ故ニ以下論スル所ハ總テ一審判官ノ際ナ
 リ

審判官ノ最モ意ヲ致ス可キハ *Strike* ナルカ故ニ未タ
Direct Catching ナラサル時ハ打手ト C.トノ中間 *Direct*
Catching ノ際ハ打手ノ背ニ接迫シ直立シテ其肩ヨリ
 H.B.ヲ明視シ得ベキ位地ニアルチ可ナリトス時ニ P.ノ

背面ニアルモ可ナレトモ撰手ノ投球ヲ妨ケ *Strike* ノ明
 視ヲ欠キ *Foul Hit* ナ速決スル能ハサルカ故ニ C.ノ背
 面ニアルチ最便ナリトス

審判官ノ困難 最大ノ困難ハ C.ノ後ヘニアリテ *Foul*

Tip ナ恐ル、ニアリ熱球ノ小 *Foul Tip* ニ顔ヲ衝カル、コ
 ト時ニ是アルチ以テ面ヲ被ムルモ可ナリ嘗テ C.ヲ專
 門トセシコトアラハ其便蓋シ大ナリ *Out* ニノ内最難ナ
 ルハ *Sile Out* ニ際シ一走者ハ 3.B.ヨリ H.B.ニ入ラントシ
 一ハ I.B.ニ走り而シテ球ハ I.B.ニ投セラレシ際ニシテ二
 走者一球ノ遅速ヲ監セサルチ得サルカ故ニ最難ナリ
 此際ニハ H.B.ノ左側ニ立膝シテ H.B.ト I.B.トチ一線上ニ置

クテ最便ナリトス次ハI.B.ノCニシテ遅速ヲ辨シ難
 キコト多シ如斯際ハ經驗ヲ積ムニ從ヒ何トナク遅速
 ナ感スル者ナレバ傍人ノ說如何ニ關セス己レノ感ス
 ル所ヲ宣告スベシ2.B.ノOutニ至リテハBase Manノ
 身軀ニ蔽ハレテ球ノ走者ノ身軀ニ觸レタルヤ否ヤヲ
 己レハ何トナク感スルモ判然タラズンハ先ツBase Man
 ニ問ヒ次キニ走者ニ問ヒ二人ノ答フル所一致セバソ
 レニ從ヒ若シ相反セハ直チニ己レノ感セシ所ヲ以テ
 宣告スベシ次ニ困難ナルハ規則ノ規定ヲ犯セルヤ否
 ヤ疑似ノ間ニアルモノニシテ圍者走者共ニ時ニ有意
 然レトモ多クハ無意ニ犯則スル者アルナレハ常ニ公

平ノ見ヲ以テ是ヲ監スベシ次ニ困難ナルハ圍者ノ飛
 球ノ未タ地ニ落ちサルニ取レルヤ又ハS.B.ニテ取レル
 ヤ不明ナルトキニシテ若シ芝生ナラシニハ審判官ハ
 己レノ信スル所ヲ以テ宣告スベク若シ幸ニシテ裸地
 ナラハ自ラ往テ其點ヲ視ハS.B.ナル者ハ必ラス球迹ヲ
 印スルヲ以テ判決ノ資料トスベシ

其注視スベキ點 圍者走者ト同シク常ニ球ノ所
 在ヲ注視シテ暫クモ傍視スベカラス次ニ注視スベキ
 ハP.ノBallセルヤ否ヤニシテ判決ニ苦ム者ノ一ナリ
 次ハStrikeニシテ是レ老練ノ者ニアラサレハ或ハ見
 誤リ或ハC.ニ翻弄セラル又打手ニ依リ球ノ來レル時

身ヲ縮ムル者アレハ其直立セル時ノ高サヲ以テ球ノ高キニ失セルヤ否ヤヲ判スベシ其他上ニ掲ケシ困難ノ諸點ト規則ノ犯則者ナキヤ否ヤハ固ヨリ其精力ヲ悉クシテ注視スベキ所ナリ

其義務 其義務ハ第一音吐ノ大ニシテ能ク全場ニ徹シ圍者攻者共ニ今何ノ場合ニアルヤヲ知ラソコトヲ要ス *Strikes* ト *Balls* トヲ宣告スルハ規則ニ規定セル所ニシテ悉ク二者ノ數ヲ唱ヘサルモ可ナルモ *Balls* ハ *3 Balls* ニ至リ *Strike* ハ *2 Strikes* ニ至レハ是ヲ高音ニ唱ヘテ注意ヲ與フルヲ要ス又 *Ball* ハ何ノ故ニ即チ遠キカ近キカ高キカ低キカナルヲ以テ *Ball* トスルヲ宣告

スルヲ誠ニ満足ノ法ナリトス *Foul Hit* ナルヤ *Fault* ナルヤハ打手ニ大關係アルカ故ニ可成速カニ高音ニ其何レナルヤヲ宣告スベシ其他圍者走者ノ何レノ場合ニアルヤヲ知ラサルカ如キ觀アラハ可成是ニ戒告スルヲ可ナリトス然レドモ如何ニスベキカヲ告グルカ如キハ固ヨリ非常ノ嚴禁ナリ

其撰擇 審判官ニハ諸規則ヲ熟知セルハ固ヨリ實際上ノ經歷ニ富ミ彼我ノ共ニ信用セル人ナルヲ要ス大凡ソ數回此局ニ當レハ其人ノ審判官タルニ適スルヤ否ヤハ直チニ明白トナル者ナリ蓋シ此局ハ一種ノ天才ヲ要スレハナリ

如何ナルヲ完全ナル審判官トスルカ 規則
ヲ暗シセル音吐ノ高朗明白ナル判決ノ迅速ニシテ公
平ナル共ニ審判官ニ缺クベカラサル要素ナリ而シテ
其適否ヲ驗スルノ最良法ハ仕合了レル後何人カ如何
ナルコトヲナセシヤ何組ノ圍者ナリシヤ攻者ナリシ
ヤ殆ント仕合ノ經過ヲ忘ル、モノヲ最上トス蓋シ彼
我ヲ忘レ一心唯球ト人躰トヲ見テ常ニ現在ヲ精視シ
テ過去ヲ忘ルレバナリ而シテ復自ラ顧ミテ走者ノ生
否ヲ豫期セス唯其起レルニ隨テ判決ヲ下シ思考セサ
ルニ判決自カラ口ヲ衝テ出テ傍人ノ談論一モ耳ニ入
ラサルニ至ルヲ知ラバ自ラ以テ審判官ニ適セリト思

惟スベシ

結論

今將サニ全篇ヲ了ラントスルニ際シテ一事ノ大ニ注意スベキコトアリ夫ハ上ニ論說シ來レル所ハ一定不變ノ者ニアラサルコト是レナリ青年ノ元氣ヲ寓シ洩ラスノ法トシテモ又其技術上ノ點ニ於テモ上ニ論シ來レル所ハ一定不變ノ者ニアラサルコト是レナリ人心ノ趨ク所ハ千姿多様若シ他ニ良法アラハ強テ野球ヲ固持スルヲ要セサルナリ野球ノ技ヤ變幻出沒敢テ端倪スベカシサルヲ尙フ若シ上ニ論セシ所ニ隸從セ

ハ是レ已ニ野球ノ精神ヲ失ヘルナリ夫子ノ德萬古ニ秀テ、支那ニ尊古ノ弊風アリふれでりつく大王ノ軍畧一世ヲ風靡シテうるむせる却テ無法ノ奈翁ニ敗ナル唯其形ヲ株守シテ其心ヲ察セサレハナリ野球ニ於テモ其旨トスル所ハ是ニ外ナラス青年進取ノ時代ニ於テハ更ラニ然リ已ニ一定ノ見ヲ持シ一種ノ說ヲ固持スルハ老成人ノ事ナリ青年ニアツテハ朝ニ一事ヲ見夕ニ復一說ヲ聞キ常ニ進化ノ域ニ立タサルベカラス故ニ書生ノ生活ニハ常ニ波瀾アルヲ要ス變化アルヲ尙フ是ニ於テカ教場ニ於テハ日新ノ學問ヲ耳ニシテ校庭ニ於テハ變化極リナキノ野球ヲ事トセバ庶幾

クハ以テ早熟固定ノ弊ヲ免カル、ヲ得ン

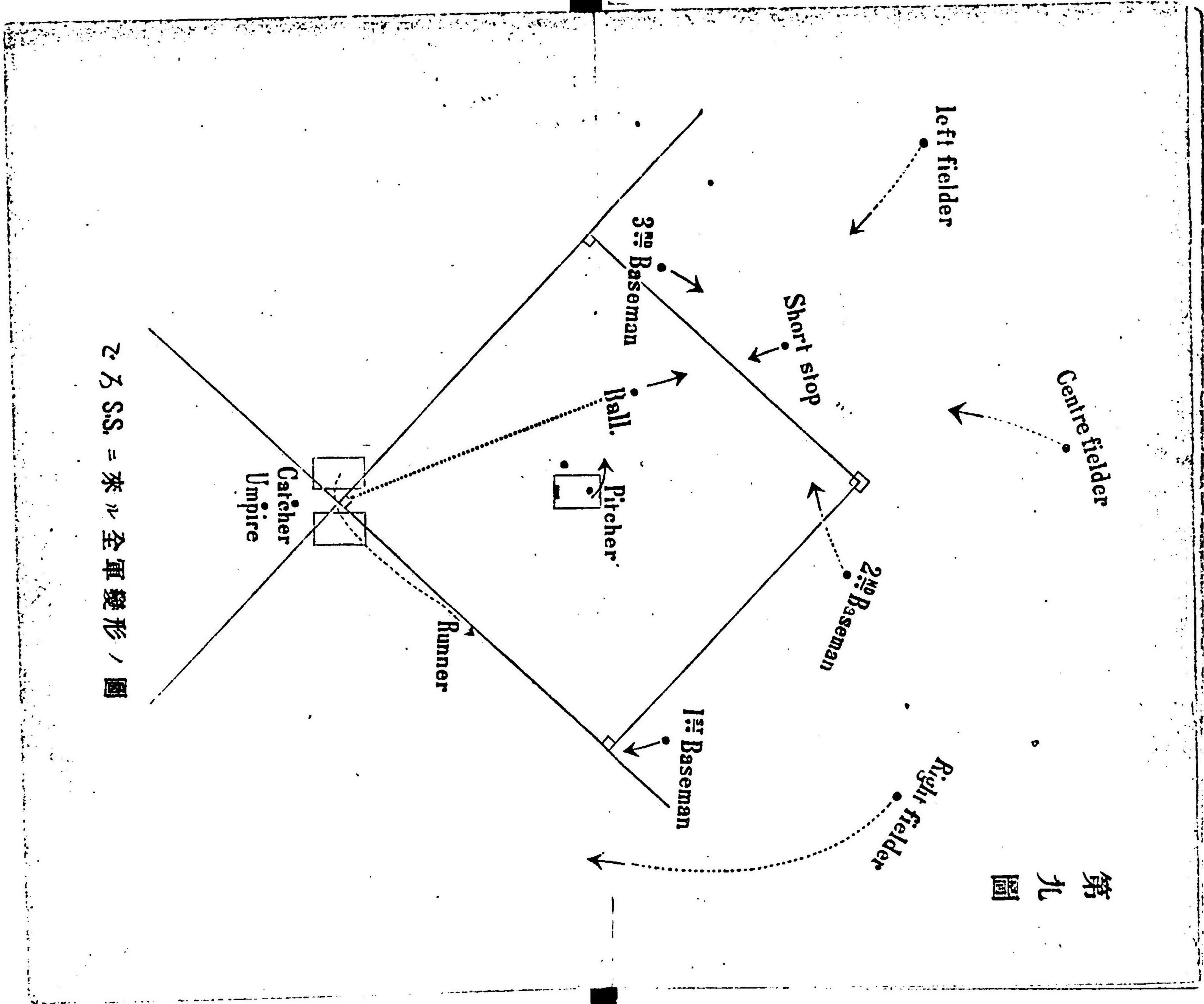
仕合規則

仕合ノ大要ハ既ニ本編ニ述ヘシヲ以テ爰ニハ直チニ詳則ヲ掲ク

野球ハ上ニ述ヘシカ如ク複雑ナレハ其仕合規則モ從ツテ然ラサルヲ得ス北米ニ於テハ年々實際ニ鑑ミテ是レカ改正ヲ施シ今ヤ殆ント完璧ニ達セリ但シ彼レニアツテハ金錢得喪ノ具トナレルカ故ニ爭論ヲ生シ得ベキ極難ノ場合ハ悉ク是ヲ削ツテ平板トナシ爲メニ却ツテ野球ノ妙味ヲ減スルノ恐レア

ルニ至レリ故ニ今是ニ掲クルハ其順序及ヒ体裁ハ
大凡ソ千八百九十六年ノすぶるりんぐ出版ノべ
すばゝる案内ニ據レルモ其内容ニ至ツテハ第一高
等學校野球部ト商量シテ變更セル點少カラス
野球ヤ今ヤ既ニ多少日本化セルヲ以テ其用語ヲ本
邦流ニスルハ誠ニ欲スル所ナリト雖モ本邦古來類
似ノ技ナキカ故ニ生硬ノ譯字ヲ棄テ、概テ原語ヲ
其儘用キタリ讀者若シ適當ノ用語ニ想到スルアラ
ハ遠慮ナク通知アラソコト編者ノ偏ヘニ希望スル
所ナリ

球 場



第九圖

此乃 S.S. = 來ル 全軍變形ノ圖

第一條

全野ノ一點A.ヨリ直線A.E.ヲ引キA.點ヲ距
ルコト百五十四尺ナルB.點ヲ通シテH.G.線ヲA.E.線ニ
直角ニ引キB.點ヲ中心トシ63.6395尺ヲ半徑トセ
ル弧ヲ以テA.E.及ヒG.H.線トF. G. H.及ヒI.ノ四點ニ於
テ交ハラシメ此四點ヲ連接セハ是レ即チ内野ニシ
テ此四線ヲ一ニ走者線ト云フ

備考

球場ハ平坦ナルヲ最上トスレトモ亦多少ノ凸凹ハ強
テ間フ所ニアラス芝生ナレハ常ニ短ク刈ラサレハ水
氣ヲ儲フシテ搦手ヲ迂ラシメ且ツ保存ニ費用ヲ要スルカ
故ニ裸地ナルヲ却ツテ可ナリトス而シテ注意シテ小石ヲ
去ルベシ是レ是レ方方向チ變シ球ヲ毀損スルノ憂アリ
A.E.線ヲ定ムルニハ可成夕日ノ右斜ヨリP.ノ背面ニ當ルチ
要ス若シ止ムナク此方向チ變スルモP.又ハC.ノ正面ヨリ
夕日ノ照サ、ルニ注意スヘシ

C.ノ線

第二條 F.點ヲ中心トシ九十尺ノ半徑ヲ以テF.A.線
上ニL.點ヲ定メF.A.線ニ直交セルO.M.線ヲ引クコト九
十尺以上ニ及バ、是レ即チC.ノ線ナリ

備考

此線ノ中央ニ當ツテ任意ノ高サト長サノ綱ヲ張ルナ
便ナリトス

Foil線

第三條 F.G.及ヒF.H.線ヲ無窮ニ延長セハ即チ此線ナ
リ

備考

此線ハG.及ヒH.點ヲ距ルコト十間位ニ至レハ可ナリ
而シテ其端ニ三三旗トテ紅白ノ二旗ヲ建ツルヲ審判
官ニ便ナリトス

P.及ヒ打手ノBox

第四條

F.B.線上F.點ヲ距ル六十一尺ノ點ヨリG.H.線

ニ平行シテA.B.線ヲF.B.線ノ左右各二尺ノ長サニ引キ
幅四尺長サ五尺六寸ノ長方形ヲ畫カハ是レP.ノBox
ナリ打手ノBoxハH.B.ノ左右ニアリテH.B.ノ對角線
ニ左右各六寸ヲ加ヘタル距離ヲ有シ其長サノ中央
點ハ同對角線上ニアリテA.F.B.線ニ平行シテ長サ六尺
幅四尺ノ二長方形トス

ペーす

第五條

F.角内ニ一邊ノ長サ十二寸ナル一方形ヲ
畫キ其兩邊ヲF.G.及ヒF.H.線上ニ置カハ是レTonneヲ

リ又はレト同シク十五寸ノ邊ヲ有セル方形ヲG.及
ヒH.角内ニ畫カバ是レI.B.ト3.B.トナリ而シテ2.B.ハ同
シク十五寸ヲ一邊トセル方形ヲI.角上ニ畫キ其相
隣レル二邊ハF.G.及ヒF.H.線ニ平行シ其中心ハ正サニ
I.點上ニ置クベシ是レ2.B.ナリ

備考

北米ニ於テハHome Baseハ護膜ノ白
ク塗レルモノナレドモ本邦ニ於テハ美滿洋屋ノ布製
ノ者ニテ可ナリ其他ノHome Baseハ布製ノ袋ニシテ裡ニ石灰又
ハ細屑ヲ入レ其大サハ共ニ本則ニ規定セル力形ニ適スル
モノナランバ可ナリ

第六條

以上規定セル諸線ハ白墨又ハ其他ノモノ
ヲ以テ畫キ審判官ニ見易カラシムベシ

用球

第七條

第一項 球ノ重サハ三十七匁半乃至三十八匁ニシ

テ其周邊ハ七寸五分乃至八寸タルベシ

備考

都合ニ依リ彼我相談ノ上何種ノ球ヲ用フルモ可ナリ
又仕合ヲ速カナラシメンカ爲メニ二個ノ球ヲ用非テ
一球ノHome Baseノ爲メニ遠方ニ逸スル毎ニ他球ヲ用ヒ大ヒ
ニ便ナリ而シテ一球ハ常ニ審判官ノ手ニ存スベシ

第二項 用球ハ座元ノ野球部是ヲ供シ最後ニ用ヒ

タル球ハ勝者紀念トシテ是ヲ所有スベシ

第三項 用球若シ變形シ又ハ破裂シ又ハ其他ノ原

因ニテ使用ニ堪ヘサルトキハ審判官ノ許可ヲ得

テ他球ヲ用ユベシ

用 棒

第八條 棒ハ木製ニシテ圓形ナルベク最大直徑三寸以下長サ四十二寸以下タルベク物ヲ以テ是ヲ卷クモ可ナルモ手元ヨリ十八寸以上ニ及フベカラス

撰手及其位置

第九條 撰手ハ其數必ラス九人ニシテ内一人ハ(Out)タルベシ

第十條 撰手ノ位置ハ野球場以内ハ何處ニアルモ隨意ナリ但シP.ハ打手ニ投スルニ方リテ必ラス第四條ニ規定セル110'内ニアルベシ

第十一條 C.ハ何種ノ手袋ヲ用フルモ可ナルモ其他ハ掌ノ固圍十四寸以上ニ及フ手袋ヲ用ユベカラス

備考

手袋ノ害ハ既ニ論セリP.ノ球非常ニ強猛ナレバ(Out)ハ是ヲ用フルモ或ハ可ナルモ外野手ニ至ツテ必ラス用ヒサルナ尙フ北米ニ於テハ今ヤ技術元氣ノ争ニアラスシテ機械ノ争ナルヲ以テ此規定アリ元來是ヲ削除シ一ニ手袋ヲ禁セントセシモ負傷者又ハP.ノ進歩ヲ慮リテ緩カニ是ヲ存セリ

仕 合

第十二條 仕合ノ一圍ハ初メニ打テル組(Out)三人ニ及ンテ攻守交代シ復タ(Out)三人ニ及ベル時初メテ一圍ヲ了レルモノトシ(Out)三人ニ及ベルヲ(Out)稱ス而シテ各仕合必ラス九圍ヨリナルベシ

但シ次ノ二場合ヲ除ク

第一 初メニ圍メル組第九圍ノ上半ニ於テ既ニ勝
テルトキハ其下半ヲ行フニ及ハス

第二 初メニ圍メル組第九圍ノ下半ニ於テ初メテ
勝テルトキハ未ダ O_三 三人ニ及ハサルモ仕合ヲ續
行スルニ及ハス

備考

圍數ハ原語ニ Tintings ト稱シ普通回ト呼ベルモ回ハ仕
合ノ度數ト混スルノ恐レアリテ是レヲ憂ヒシカ去ル
明治二十五年中第一高等中學校校友會雜誌ベースボール
部報ニ回ヲ圍ト誤植セシニ地方雜誌ニ時ニ此字ヲ用フル
モノアリ事固ヨリ過誤ニ出テシモ又多少ノ意義ナキニア
ラス原語 Tintings ハ圍ヲ潰シテ H_二ニ生還スルノ義ヨリ出テ
是ハ圍ムノ義ニ取リ正サニ相反應スルヲ以テ今假リニ是
レヲ用フ

對仕合 (Tie Game)

第十三條 第九圍ニ至ツテ勝敗ナクシバ更ラニ是
ヲ續行シテ同一ノ圍數ヲ以テ勝敗ノ決スル迄續行
スベシ但シ初メニ圍メル組ニシテ一點ノ勝ヲ制セ
ハ O_三 三人ニ及ハサルモ續行スルニ及ハス

延期仕合 (Drawn Game)

第十四條 既ニ第五圍以上ヲ終レル後驟雨暗黒又
ハ其他ノ事情ノ爲メニ仕合ヲ中止スルニ當リ最後
ノ同一圍數ニ於ケル得點同數ナルトキハ審判官ハ
延期仕合ヲ宣告スベシ但シ若シ初メニ圍メル組ニ
シテ當時打ち方トナリテ他ノ組ト同點ヲ得ハ最後

ノ同一ノ圍數ノ得點如何ニ關セス審判官ハ延期仕
合ヲ宣告スベシ

中絶仕合 (Called Game)

第十五條 既ニ第五圍以上ヲ終レル後驟雨暗黒又
ハ其他ノ事情ノ爲メニ審判官中絶仕合ヲ宣告セル
トキハ其勝敗ハ最後ノ同一圍數ノ得點ノ多少ヲ以
テ決スベシ但シ初メニ圍メル組ニシテ當時打ち方
トナリ他組ヨリモ一點或ハ一點以上ノ得點ヲ有セ
ハ全得點ノ多少ヲ以テ勝敗ヲ決スベシ

備考

第十四第十五ノ二條ハ非常ノ際ニ用フルモノニシ
テ北米ノ如ク野球季中ノ仕合日定ヲ豫定シテ日々轉
戦スルモノニハ入用ナラズモ本邦ニ於テハ強テ遵奉スル

ニ及ハス若シ驟雨等ニ妨ケラレバ更ラニ次日ニ延期ス
ルモ可ナリ但シ萬已ムテ得サル場合アラシカトテ爰ニ掲
ケタリ

没收仕合 (Forfeited Game)

第十六條 下ニ掲クル各場合ニハ審判官ハ仕合ヲ
没收シ得點如何ニ關セス犯セル組ノ敗北ト宣告ス
ルヲ得

- 第一項 仕合始マレル後審判官ノ令ナキニ仕合ヲ
中止シ又ハ行ハサルトキ
- 第二項 審判官中止ノ令ヲ下シ次テ始めノ令ヲ下
セル一分以内ニ仕合ヲ再始セサルトキ
- 第三項 故サヲニ仕合ノ時間ヲ延長セントシテ穴

漫ノ行爲ヲナストキ

第四項 故サヲニ規則ヲ犯セリト審判官ノ認定セ

ルトキ

第五項 第四十七條ニ規定セル撰手ヲ放逐スベシ

ト令セルニ一分以内ニ其令ヲ施行セサルトキ

備考

是レ亦金錢上ノ仕合ノ結果斯ル規定ヲ要スルナリ本
邦學生間ノ仕合ニ上ニ掲クルガ如キ卑劣ノ行爲ニ出
ツル者ナキヤ必セリ但シ萬一ナ慮リ參考トシテ茲ニ掲ク

無仕合(No Game)

第十七條 未タ第五園ヲ終シサルニ驟雨暗黒又ハ

其他ノ事情ノ爲メニ仕合ヲ終結スルトキハ審判官

ハ無仕合ヲ宣告スベシ但シ初メニ園メル組ノ第四

園マデノ得點初メニ打テル組ノ第五園マテノ得點

ヨリ多キトキハ初メニ園メル組ヲ勝者ト宣告スベ

シ

補欠

第十八條

第一項 仕合ニ當リテハ双方共ニ一人以上ノ補欠

ヲ豫備シ置クベシ

第二項 此補欠者ハ仕合中何時ナリトモ若シ欠員

ヲ生セハ審判官ノ許可ヲ經テ是ヲ補フコトヲ得

第三項 走リ方ノミノ補欠ハ審判官並ニ敵ノ Captain

ノ承諾ヲ經サレハ是ヲ爲スコトヲ得ス

備考

走り方ノミノ補欠トハ卑怯千萬ナリ高已ムヲ得サレハ爲スベカラス但シ敵ヨリ請求セハ直チニ承諾スルヲ男子ノ本色トセン

圍み方ノ先後球場ノ適否

第十九條 圍み方ノ先後ハ抽籤又ハ其他ノ方法ヲ

以テ双方ノ Captain 是ヲ定メ、雨後ニ於テ球場ノ適不適ハ座元ノ Captain 是ヲ斷定スベシ

備考

雨後ノ適否ハ擲手ノ甚シク迂ラサルヲ以テ足レリトス又球場中殊ニ泥滑柔軟及ヒ其他特異不都合ノアル點ハ座元ノ Captain ヨリシテ敵ノ Captain ニ注意スルヲ怠ルベカラズ

P.ノ位置

第二十條 P.ハ第四條ニ規定セル其 Box 内ニ打手

ニ正面シテ直立シ投球スルニアラサレハ一足ヲモ擧クベカラス又投シ終レルトキニ兩足共ニ Box ニアルベク投スルニ方ツテハ一步以上ヲ動クベカラス投スルニ先ツテハ球ヲ鉢ノ正面審判官ノ能ク見得ヘキ所ニ持シ一タヒベ一すニ投スル真似シテ急ニ打手ニ投スルニモ必ラス一タヒ此姿勢ヲ取ラサルベカラス

備考

此姿勢ヲ取ツテ猶且ツ急速ニ投スルハ P.ノ最モ練習ヲ要スル所ニシテ又最モ興味アルノ所ナリ蓋シ近時 P.ノ技術大ヒニ進歩シ若シ此規定ヲ存セサレハ變幻出沒打手走者共ニ其術ヲ施スニ餘地ナケレバナリ

投球 Fair 及 Unfair Ball

備考

茲ニ云ヘルニ三トハ球其者ニアラスシテP.ノ投セル球ノ方向ノ種類ヲ云フ

第二十一條

Fair BallトハP.カ第二十條ヲ遵奉シ

テ打手ニ投セル球ニシテH.B.上ノ一部ヲ過キ打手ノ

膝關節ヨリ低クカラス肩ヨリ高カラサル球ヲ云フ

備考

H.B.上ノ一部トハ其加何ナル部分上ヲ過クルモ可ナリ

第二十二條

Unfair BallトハP.カ第二十條ヲ遵奉シ

テ投セシモ第二十一條ノ規定ニ合セサル球ヲ云フ

Balk

第二十三條

三トハ下ニ掲クル場合ヲ云フ

第一項 如何ナル舉動ト雖モP.カ打手ニ投セント

スル舉動ヲ爲シテ投セザリシトキ

第二項 必要ナキニ仕合ヲ延長セシカ爲メニP.ノ

久シク球ヲ保持セルトキ

第三項 如何ナル舉動ト雖モ第二十條ニ規定セル

位置以外ニアリテP.ノ打手ニ投セントスル舉動

ヲ爲セルトキ

備考

三トハP.ノ最モ注意スベキモノニシテ復審判官ノ嚴
監スヘキ所ナリ走者ハ此規定ヲ悞ンテ常ニ次ノベ
ラナシ盗マントシP.ハ其舉動ヲ迅速正確ニシテ是ニ乘セラ
ルハナ防クベキナリ

Dead Ball

第二十四條

Dead BallトハP.ノ打手ニ投セル球ニ

シテ打手ノ是ヲ打タサルニ打手ノ身軀又ハ衣服ニ
觸レタルヲ云フ Foul Line 外ニアル審判官ニ C. ナ通過
セスシテ觸レタル時モ亦同シ

第二十五條

Foul Hit 及 Foul Ball ノ場合ニハ球ノ其合法的ノ
位置ニアルノ P. 手ニ歸ヘル迄ハ仕合ハ中止セルモ
ノト見做スベシ

備考

北米ニ於テハ上ノ三ヶノ場合ニ加フルニ走者ニ關ス
ル一場合アリトモ今是ヲ省ク其理由ハ走者ノ條下ニ
記述セン

Block Ball

第二十六條

第一項 Block Ball トハ打ナ又ハ投ケタル球ニシテ
仕合ニ關セサル人ノ是ヲ手ニ取り又ハ蹴リタル
球ヲ云フ

備考

但シ Foul Hit ノ一旦地ニ落ナタルトキニハ仕合ハ暫
ラク中止スルカ故ニ何人ノ球ヲ取りテ是ヲ投スルモ
妨ケナシ
北米ニ於テハ見物人ノ身軀ニ觸レタル球モ Block Ball トス
レトモ本邦球場ノ有様ハ未タ是ヲ許サルカ故ニ今是ヲ
削レリ

第二項 Block Ball ノ起レルトキニハ審判官ハ速カ

ニ是ヲ宣告シ走者ハ球ノ P. ノ Foul ニ立テル敵ノ
手ニ歸ヘルマデハ Out ノ憂ヘナク自由ニ次ノベ
ル球ヲ取ルコトヲ得

備考

我球ノ撰手ノ失策ヲ補ハントシテ見物ノ地ニアリテ
球ヲ拾フ等ノコトヲセバ是レ規則ニ依リテ却ツテ我
ニ不利ヲ來スガ故ニ慎ンテ是ヲ爲スベカラズ又他校ノ撰
手ヲ苦メントシテ是ヲ爲スハ卑劣ノ最ナルモノナリ故ニ
見物ノ地ニ立テルモノハ Foul Hitニアラザルヨリハ決シテ
球ニ手ヲ觸ルベカラズ

第三項

Block Ballノ場合ニ於テ見物人ノ故サラニ

球ヲ遠方ニ投ケ又ハ蹴レルヲ見ハ審判官直チニ
Timeノ令ヲ下シ圍者走者共ニ令ノ下レル瞬時ノ
位置ニ固立シ仕合ニ關セサル者ヲシテ球ヲ舊位
置ニ返ヘサシメ始めノ令ヲ以テ再ヒ活動スベシ
而シテ審判官ハ上記ノ見物人ニ退場ヲ命スベシ

備考

北米ニ於テハ走者ハ先ニアリシベイスニ歸ルベシト
規定スレドモ如斯ハ走者ニ不利ナリ蓋シ彼ニアツテ

ハ令ノ下レル瞬間ノ位置ニ固定セズシテ次ノベイスヲ盜
ムガ如キ狡者ノミナルニ加フルニ審判官ニ實權ナキガ故
ニ斯ク規定セルナリ又見物人ハ入場料ヲ拂ヘルガ故ニ退
場ヲ令スル規定ナキモ本邦ニ於テハ是ヲ勵行スベシ但シ
未タ Hook Ballノ規定ヲ知ラザルモノナンバ後來ヲ戒飾ス
ルノミニテ可ナリ

Lost Ball

第二十七條

打チ又ハ投ケタル球ニシテ叢中又ハ

深穴等ニ没シ急ニ是ヲ取ル能ハサルトキハ審判官
ハ直チニ Lost Ballノ令ヲ下スベシ此時ハ Block Ball
ノ時ノ如ク各人其瞬間ニアリタル所ニ停立シ圍メ
ル組ノ一人ノミ球ヲ搜スコトヲ得球ヲ發見セハ其
旨ヲ審判官ニ報シ始めノ令ヲ待ツテ球ヲ拾ヒ圍者

走者共ニ再ヒ活動スベシ

備考

此規定ハ北米ニハナキ所ナレドモ本邦ニ於テハ如斯
慮アル球場少カラサルガ故ニ是ヲ補充セリ

第二十八條

審判官始めノ令ナキニP.ノ打手ニ投

セル球又ハ第四十二條ノ規定ニ依リ走者ノベイス
ニ歸リ未タ達セサルニP.ノ打手ニ投セル球ハ共ニ
Noountト稱シテ全ク無効ナリ若シ打手ノ是ヲ打テ
ルモ亦同シク無効ナリ

打手ノ位置及ヒ順序

第二十九條

仕合ノ始メニ方リ双方ノCaptainハ各
自ノ打手ノ順序表ヲ審判官ニ呈シ打手ハ其順ニ從

ツテ順次第四條ニ規定セル打手ノBox内ニアリテ
打ツベシ補欠ハ其先任者ノ順ニ依テ打ツベシ第二
圍ノ最初ノ打手ハ第一圍ニ於テ最後ニ打テル打手
ノ次席者タルベク以下ノ各圍悉ク是ニ準スベシ又
打手ノ未タ打タサルニ他ニOutアリテSide Outト
ナレル時ハ次圍ノ第一打手ハ此打手ニシテ前圍ニ
有セシBalls, Strikesハ悉ク是ヲ棄テ、更ラニ新タニ
起算スベシ

第三十條

攻者ノ位地ニアル組ハ打手及ヒ走者タ
ル者ノ外ハ悉ク撰手休憩所ニアリテ安リニ他所ニ
赴クベカラス

打テ方ノ規則

第三十一條

Foul Hit トハ打手ノ第四條ニ規定セ
ル位置ニアリテ打テル球ニシテFoul線内ニアル撰
手又ハ審判官ノ身軀ニ觸レ又ハFoul線内ニ落チタ
ル時及ヒ撰手ノ干渉セサルニ球ノ自ラH.B.トI.B.間又
ハH.B.ト3.B.間ニ於テFoul線内ニ入レル時ヲ云フ但
シ末項ノ場合ニ於テハ球ノ初メFoul線外ニ落チ
タルモ間フ所ニアラス

第三十二條

Foul Hit トハ打手ノ第四條ニ規定セ
ル其位置ニアリテ打テル球ニシテ次ノ三ヶ條ニ合
セル者ヲ云フ

(第一) 二 Foul 線外ニ立テル撰手又ハ其他ノ物軀

ニ觸レ又ハ同線外ノ地ニ落チタルトキ

(第二) 打手未タ第四條ニ規定セル位置ニアルニ其
身軀ニ觸レタルトキ

(第三) 打手ノ第四條ニ規定セル位置ニアリテ打テ
ル球ノH.B.トI.B.間及ヒH.B.ト2.B.間ニ於テ撰手ノ干渉ナ
キニFoul線外ニ出テタル時但シ此場合ニ於テハ球
ノ初メFoul線内ニ落チタルモ間フ所ニアラス
但シFoul Hitニシテ打手ノ頭ヨリモ高ク上ラスH.B.ノ
十尺以内ニ於テC.ノ受ケタル球ハFoul Hitト稱ス

備考

Foul Hitハ近時C.トP.トノ進歩ノ結果ナリ初心ノ仕
合ニハ直チニ以テFoul Hitヲ受ケタルモノトシテ判

決スルモ可ナリ

第三十三條 Bunt Hit トハ打手ノ極柔カニ球ヲ内野ニ轉ガシ敵ノ是ヲ取ルモ Out ニスル能ハサルカ如ク極徐カニ棒ヲ揮フヲ云フ

野球場以外ニ打テル球

第三十四條 打テル球ニシテ遠ク飛ビ球場以外ニ落チナバ審判官ハ其 Foul 線ノ内又ハ外ニ落ツルヲ見テ第三十一條又ハ第三十二條ヲ適用スベシ

第三十五條 Fair Hit ニシテ球場以外ニ飛出セハ審判官ハ打手ニ Home Run ノ特權ヲ與フベシ但シ H.B. ナ距ルコト二百三十五尺以内ナル時ハ In Base Hit

ノ特權ヲ與フベシ

備考

Home Run トハ一舉ニ全ベ一オナ一周スルノ謂ヒニシテ In Base Hit トハ 2.B. マテ至ルヲ云フ

第三十六條 Strike トハ下ノ場合ヲ云フ

第一項 打手ノ棒ヲ揮ヘルモ球ニ當ラサル時

備考

棒ヲ揮ヘルトハ H.B. ノ中心上ヲ通過セシヲ云フ故ニ過失ナリトモ棒ノ H.B. ノ中心上ヲ過ギナバ審判官ハ Strike ナリト宣告スベシ

第二項 Fair Ball ナ打タサル時

第三項 如何ナル舉動ト雖モ明ラカニ Foul Hit ナ爲ノトスルノ舉動アリト審判官ノ認定セル時

第四項 Bunt Hit ナ爲シテ第三十二條(第三)ノ Foul Hit トナル時

備考

Bunt Hit ハ最も卑怯ノ打ち方ナルヲ以テ此制裁アルナリ

第五項

打タントシテ球ノ打手ノ身軀ニ觸レタル

時

備考

第三十二條(第二)ニ規定セルハ已ニ打テタル球ノ打手ノ身軀ニ觸レタル場合ニシテ茲ニ規定セルハ未タ棒ノ球ニ當ラサル時ヲ云フナリ

第六項

Foul Hit ノ時

第三十七條

Foul Strike トハ第四條ニ規定セル位置

外ニアリテ球ヲ打テタルヲ云フ

打手ノ *Out* トナル場合

備考

Out トハ打手及ヒ走者ノ走者タルノ權ヲ失フヲ云ハルモノニシテ上來生捕又ハ死す等トアルハ皆是ナリ

第三十八條

次ノ場合ニ於テハ打手ハ *Out* ナリ

第一項 審判官ノ打手ヲ呼ベルモ一分以内ニ其位

置ニ就カサル時

第二項

Foul Hit ナシ其球ノ未タ地ニ墜チサル

ニ敵ノ是ヲ受ケタル時但シ敵手其帽子又ハ衣服

ヲ以テ是ヲ受ケ又ハ其受クル前ニ球ノ或ル物軀

ニ觸レタルモノハ此限リニアラス

第三項

Foul Strike ナ爲セル時

第四項

打手其定位置外ニ踏出シテ *C.* ノ受け方又

ハ投球ヲ妨害シ或ハ其他ノ方法ヲ以テ敵手ノ運

動ヲ妨害セル時

第五項 已ニ第二 Strike ノ宣告ヲ受ケテ第三十六條

第三項ヲ犯シテ明ラカニ Foul Hit ナ爲サントセ
ル時

第六項 第三 Strike ナサントスルニ際シ打手ノ
身軀及ヒ衣服ニ球ノ觸レタル時

第七項 第三 Strike ニ Bunt Hit ナセルニ審判官第三
十六條第四項ヲ以テ Strike ナ宣告セル時

備考

此條ハ千八百九十六年北米ノ規則ニ依レハ十項ヨリ
成レルモ今其三項ヲ削レリ第一ハ北米ノ野球組合ノ
ミニ關スルモノナルヲ以テ固ヨリ是ヲ削リ第二ハ I.B. ニ走
者アルニ Bunt Hit ナセル時第三ハ同シク I.B. ニ走者アル時
ニ内野手ニ取ラレキ飛球ヲ打テル時ハ共ニ敵ノ受ケシ
ヤ否ヤニ關セス打手ヲ Outニスルナリ是レ蓋シ Bunt Hit
ナ處ヨリ此制限ヲ置ケルナリ然レドモ既ツテ思フニ如斯

打ち方ヲナセルハ拙ノ又拙練習不足ノ爲メニ生スル者ナ
レハ是ヲ保護スルコトヲナサス Double Play ノ痛罰ヲ科スル
ヲ至當トスヘシトテ共ニ是ヲ削レリ

走り方ニ關スル規則

如何ナル場合ニ打手ハ走者トナルヤ

第三十九條 次ノ場合ニ於テ打手ハ走者トナルベ
シ

第一項 Fair Hit ナセル時

第二項 Four Balls ノ宣告アリタル時

備考

茲ニハ Four Balls トスルモ五、六球等其數ハ熟否ニ從ツ
テ臨時ニ定ムルモ可ナリ

第三項 3 Strikes ノ宣告アリタル時

備考

茲ニ宜シク注意スベキハ第三 Strike ハ其球ニ當レル
ト否トナ問ハス Fair Hit ト看做サルノコトナリ

第四項 打手タリシ際ニP.ノ投球其手及ヒ前腕ヲ除ケル他ノ部又ハ衣服ニ當レル時但シ球ニ當ラントノ意思ヲ以テ是ヲナセリト審判官ノ認定セルトキハ此限ニアラス

第五項 P.ノ非法的ノ投球ヲナセル時

通過スベキベース

第四十條 走者ハ第一第二第三H.B.ノ順ヲ追フテ通過セサルベカラス合法的ニベースニ達セル後始メテ其ベースヲ所有シ次ノベースニ合法的ニ達スル迄又ハ次ノ走者ノ爲メニ其ベースヲ去ルヘキヲ合法的ニ令セラル、迄ハ其ベースヲ所有スルノ

權アリ

備考

同一ノベースヲ同時ニ二人ノ走者是ヲ所有スルコト能ハス後ヨリノ走者己レノベースニ來ラハ己レハ必ラス次ノベースニ至ラサルベカラス

ベースヲ有スベキ權

第四十一條 次ノ場合ニ於テハ走者ハOutノ憂ナクシテ次ノベースヲ所有スルノ權ヲ生ス

第一項 未タ打手タリシ時審判官Four Ballsノ宣告ヲ下セル時

第二項 次ノ打手P.ノ投球ニ觸レ又ハP.非法的ノ投球ヲ爲シ又ハFour Ballsノ爲メニ審判官其打手ニベースヲ與ヘ爲メニ現有ノベースヲ去ラサル

ヲ得サル時

第三項 Dead Ballノ宣告アリタル時

第四項 P.ノ投球C.ヲ通過シテ審判官ニ觸レ又ハ

H.B.ノ九十尺以内ノ物体ニ觸レタル時

第五項 Fair Hitニシテ Foul 線内ニアル審判官ニ觸

レタル時

備考 是レ審判官ノP.ノ後ヘニアリシ時ナリ

第六項 敵手ニ妨ケラレテベースニ達スル能ハサル時

備考

若シ敵ノ我ヲ妨クルヲ見ハ直立停止シテ審判官ニ訴
フベシ故ニ扶メル時ハ愾ンテ走者線上ニ立チテ敵ノ
走ルヲ妨ケサル様注意スベシ

第七項 敵手ニシテ打タル球ヲ帽子又ハ衣服ヲ以
テ受ケ又ハ止メタル時

ベースニ歸ルベキ場

第四十二條 次ノ場合ニ於テ走者ハ己レノベース

ニ歸ルベシ而シテ其途上 Outノ憂アルコトナシ

第一項 敵ノ受ケサリシ Foul Hitノ宣告アリシ時

第二項 Foul Strikeノ宣告アリシ時

第三項 Dead Ballノ宣告アリシ時但シ其球 Foul

Ballナルカ爲メニ己レノベースヲ去ラサルヲ得
サル時ハ此限ニアラズ

第四項 審判官ノ身軀又ハ衣服C.ノ妨害トナレル

時又ハCノ走者ヲOutニセントセル投球審判官ニ觸レタル時

第五項 打手打タントシテ其身軀球ニ觸レタル時

備考 各項ノ規定ハ皆固者ニ不意ノ妨害ナルカ故ナリ

走者ノOutタルヘキ場合

第四十三條 次ノ場合ニハ走者ハOutナリ

第一項 第三StrikeヲナシテCノ其球ヲ受クルチ

明カニ妨害セル時

第二項 打手タリシ時FairHitヲナシ其球ノ未タ

地ニ落チサルニ敵ノ是ヲ受ケタル時但シ敵帽子

又ハ衣服ヲ以テ受ケタル時ハ此限ニアラス

第三項 打手タリシ時審判官ニ3 Strikesヲ宣告

セラレ其球ノ未タ地ニ落チサルニ敵ノ是ヲ受ケ

タル時但シ敵帽子又ハ衣服ヲ以テ受ケ或ハ受ク

ル前ニ球他ノ物体ニ觸レタルモノハ此限ニアラ

ス

第四項 Fair Hit又ハ3 Strikesヲナセル後未タI.B.ニ

達セサルニ敵ノ球ヲ手ニシテ走者ノ身軀ニ觸レ

タル時

第五項 Fair Hit又ハ3 Strikeヲナセル後未タI.B.ニ

達セサルニ敵球ヲ持チテ其身軀ノ一部ヲI.B.ニ觸

レタル時

備考

此場合ニ於テ敵トアリテ1.Bトナキニ注意スベシ

第六項 H.B. ヨリ1.B.ニ走ルニ後ノ半距離ヲ走ルニ方
リ走者線ノ三尺以外ヲ走レル時但シ敵ト衝突セ
ントセルヲ避ケタル者ハ此限ニアラス

第七項 1.B. ヨリ 2.B. ヨリ 3.B. ヨリ H.B. へ走ルニ方リ
敵ノ球ヲ手ニシテ己レニ觸ル、ヲ避ケントシテ
走者線ノ三尺以外ニ出テタル時但シ敵カ球ヲ受
ケントスルニ衝突スルヲ避ケントシテ線外ニ出
テタルハ此限ニアラス敵ヲ避クル時ハ敵ノ背面
ヲ通過スベシ

第八項 此條ノ第六第七項ニ規定セルカ如ク打テ

ル球ヲ取ラントスル敵ニ衝突スルヲ避ケサリシ
時又ハ打チ又ハ投セル球ヲ取ラントスル敵ヲ有
意ニ妨害セル時但シ若シ二三ノ敵手其球ヲ取ラ
ントセル場合ニハ審判官ハ其裡ノ何人カ果シテ
此規定ノ保護ニ浴スベキモノナルヤヲ断定シ走
者ハ其他ノ者ヲ妨害スルモ此規定ニ抵觸スルコ
トナシ

第九項 仕合中ニ於テ走者ノ身軀ノ一部ベースニ
接セサルニ敵球ヲ手ニシテ走者ニ觸レタル時但
シ敵ハ球ヲ觸レタル後モ尙ホ是ヲ固持セル時ニ
限ル但シ初メテ1.B.ニ至レル時ハ是ヲ走り越シテ

球ヲ觸レラル、モ〇ニタルコトナシ此場合ハ可
成速カニ1.B.ニ歸リ一タヒ1.B.ニ歸レハ以後ハ他ノ
ベースニ於ケルト同様ニ〇ニニサル、コトヲ得
又1.B.ヲ走り越シテ後左ニ回轉セハ悉ク此特典ヲ
剝奪セルベシ

備考

左ニ回轉スレハ此特典ヲ剝奪セラル、ハ是2.B.ニ走ル
ノ姿勢ナレハナリ但シ2.B.ヲ盗ムノ餘地アルヲ見ハ斷
然左ニ回轉シテ2.B.ヘ急走スベシ

第十項

Foul Hit 又ハ Foul Hit ニシテ未タ地ニ落チ
サルニ敵是ヲ受ケ走者ノ其ベースニ觸レ居ラザ
ルニ敵球ヲ持シテ其身軀ノ一部ヲベースニ觸レ
或ハ走者ノ身軀ニ觸レタル時但シ走者所有ノベ

ースニ觸レ又ハ其身軀ニ觸レサルニ先ツテP.若
シ投手ニ投球セハ上ノ規定ハ悉ク無効ナリ又敵
ノ未タ地ニ落チサル球ヲ受ケシ後走者一タヒベ
ースニ歸ラハ其運動ハ尋常ノ場合ト異ルコトナ
シ

備考

數年前マデハ飛球ヲ受ケラレタルトキハ走者ハ一步
モ其ベースヲ離ル、コト能ハサル規定ナリシカ近時
ニ至リ此規定ヲ設ケシヨリ遠ク外野ニ飛ア球ヲ打テバ味
方ノ走者ニ生運ナ與ヘ聊カ未熟ナル打手ノ面目ヲ存スル
ニ足レリ

第十一項

打手ノ走者トナレル瞬間ニ若シ走者1.B.ニ
アラハ又ハ1.B.ト2.B.トニアラバ又ハ1.B.ト2.B.ト3.B.ト
ニアラハ(是レナニ Base)ト稱ス(是等ノ走者ハ中

第十五項 審判官仕合ヲ中止セルトキ中止ノ命アリタルトキ所有セシベースニ歸ルヲ走者ノ怠レル時

備考 走者ノO.E.ハ仕合中ノ大観ニシテ且ツ仕合ノ精確ナリ讀者以上ノ諸項ヲ熟讀玩味シ練習シ撰手各論仕合ニ論セシ諸點ト對照自得スベシ

第四十四條 以上ノ諸規則ト抵觸セルトキハ審判官ハ他人ノ言ヲ俟タス速カニ判決ヲ下ス可シ

審判官

第四十五條 Timeトハ審判官又ハ撰手ニ事故ヲ生セシ時審判官ノ認定又ハ撰手ヨリ請求アリタルトキ審判官ノ下ス仕合ヲ中止スルノ令ニシテ始めノ

令アル迄ハ仕合ハ全ク中止スベシ但シ走者アルトキハ球ハP.ノ位置ニ立テル撰手ノ手ニアルニアラサレハ此令ヲ下スベカラス而シテ走者ハ其最モ近キベースヲ所有スルノ權アリ

備考

故ニ外野手若シ球ノ爲メニ事故ヲ生セハ一人ハ直チニ球ヲP.ニ投シテTimeヲ請求スベシ又P.ニ事變生セハS.S.又ハI.B.直チニP.ノ位置ニ球ヲ手ニシテ立チ以テTimeヲ請求スベシ斯ル事變ニ際シテ走者ハ正サニ次ノベースニ進セントスルコト屢々ナルカ故ニ末項ノ特典アリ但シ普通審判官ノ此令ヲ下スハC.ノ面ヲ被ムリ又ハ撰手ノ脚ヲ絆メ直ス等ノ場合ナリ

第四十六條 審判官ハ全場唯一ノ君主ナリ何人モ是ニ抗スルヲ得ス而シテ其判決ハ常ニ始審ニシテ終審ナリ一切是ヲ争フヲ得ス

第四十七條 審判官ト對話スルニ方リテハ必ラス
脱帽シ敬語ヲ用フベシ

第四十八條 審判官ノ令ヲ奉セス又不敬ノ言行アル者ハ審判官ハ是ニ退場ヲ命スベシ

第四十九條 審判官ハP.ノ投球毎ニBall又ハStrikeナルヲ宣告スベシ而シテ宣告ハ必ラス球ノH.B.ヲ通過セル後ニ於テスベシ

第五十條 審判官ハ各 Ball Ball, Block Ball, Foul Hit 及ヒ Foul ナ宣告スベシ

採點

第五十一條 Strike Out 以前ニ合法的ニH.B.ニ歸レル

者ニハ一點ヲ與フ但シ Strike Out 以後ニ未タH.B.ニ達セサル走者ハ Bunting ト稱シテ勝敗ノ數ニ與カラス

備考 採點表ハ如何ナル式ヲ用フルモ得點ヲ記

シ得レハ即チ足レリ但シ又普通ノ法式ナキニアラス其最モ簡單ナルハ左表ノ如シ

表中○ハ得點×ハ Out S.ハ Standing ナリ×ノ肩ニアルハ其死所ヲ示スモノニシテ是ヲ説明スレハH. 1. 2. 3.ハ其死セシベト示シ F.L.ハ Fly Out F.ハ Foul Out ニシテ L.ハ Line Out 即チ扶マレテ線上ニ死セルモノ單ニ×トアルハ 3 Strikes Out ナ

リ今一表ヲ掲ケテ實例ヲ示セリ
 上者ハ其最簡ナルモノナリ然レトモ技術ノ進ム
 ニ隨ヒ採點表モ亦進歩シ表ヲ一見セハ直チニ仕
 合ノ經過ヲ知ルベキ法式ヲ用ントスルハ自然ノ
 數ナリ北米ノ表ハ以テ撰手ノ給料ヲ評定セント
 スルモノナルカ故ニ其功名ト失策トノミヲ記シ
 テ仕合ノ經過ニ及ハス以テ遺憾トセシニ第一高
 等學校野球部員草鹿砥祐吉氏近時一法式ヲ案出
 シテ現ニ同部ノ採用スル所トナレリ今氏ノ承諾
 ナ經テ茲ニ掲ク

○ナ Home In ノ符號トス

×ナ Out ノ符號トス
 S ナ Stunting ノ符號トシ右肩ニ其在リシベ一オナ記
 ス例令へハ S^2 S^3 ノ如シ
 Oニノ仕様ハ右肩ニ記シ打テル球ノ方向ヲ左肩ニ記
 ス
 Oニニナレル位置ヲ分子トシ Oニヲ助ケタルモノヲ
 分母トシテ右肩ニ記ス例令へハ $\frac{1}{P}$ ハ P.ガ球ヲ取リ
 テ I.B.ニ投セルモノニシテ $\frac{1}{S}$ ハ S.S.ノ投セルモノナリ
 打テル方向若シ敵手ノ間ナルトキハ二者ノ間ニはい
 ふんヲ施ス例令へハ $\frac{3-S}{O}$ ハ 3.B.ト S.S.トノ間ニ打チテ生
 還セルモノナリ

Fly Out ハ F.L. トシ Foul Out ハ F. トシ 分母ニ是ヲ受ケシ
 モノヲ記ス 仮令ヘハ $\frac{F.F.}{L.F.}$ ハ L.F. ノ $\frac{F.F.}{L.F.}$ ヲ受ケシモノニ
 シテ $\frac{F.F.}{L.F.}$ ハ C. ノ $\frac{F.F.}{L.F.}$ ヲ取レルモノナリ
 過失アルモノニハ (1) ヲ付ス 例令ヘハ $\frac{L.S.S.}{L.F.}$ ハ S.S. ノ投ケ
 損セシモノ $\frac{L.S.S.}{L.F.}$ ハ I.B. ノ受ケ損セルモノナリ
 ぶろハ符號ナク $\frac{F.F.}{L.F.}$ ハ F.L. ヲ分子トシ其方向ヲ分母ト
 ス 例令ヘハ $\frac{F.F.}{L.F.}$ ハ L.F. ノ受損セルモノナリ
 球ヲ受ケタル者 打手ヲ殺サントセス 他ノ走者ヲ殺サ
 ノトシテ投シタル時ハ左肩ニ投シタル者ヲ分母トシ
 受ケタル者ヲ分子トシテ記ス 例ヘバ $\frac{2.P.}{L.F.}$ ハ P. ニ取レ
 タルモ P. 2.B. ニ投セルカ爲メニ打手ハ死ヲ免カレ 遂ニ

生還セルナリ

球ヲ受ケテ投セルモ遠距離等ノ爲メニ不得止敵ヲ殺
 ロス能ハサリシ者ハ投セル者ヲ分母受ケタル者ヲ分
 子トシテ左肩ニ記入ス 例ヘバ $\frac{L.S.}{L.F.}$ ハ L.F. 投セルモ已ニ
 還リ而シテ走者ハ亦 2.B. ニ至レルル $\frac{L.S.}{L.F.}$ Side Out トナレル
 者ナリ

Strikes ハ T. 字ヲ左肩ニ付ス 例令ヘハ $\frac{T.}{L.F.}$ ノ如シ

4 Balls ハ 4. ヲ左肩ニ付ス 即チ $\frac{4}{L.F.}$

Double Play ハ括弧ヲ以テ結ブ 即チ $\frac{2.S.S.}{L.F.}$ $\frac{F.g.}{S.S.}$

外野手ノ頭上ヲ飛ヒ越セルトキハ $\frac{F.g.}{L.F.}$ ヲ其野手ニ付ス

即チ $\frac{F.g.}{L.F.}$ ノ如シ

① Base Hit 以上ハ其數ニ應シテ 2, 3, H. ナ左下ニ付ス


例令ヘバ  ハ 3 Base Hit ナリ

② Strike ナ C. 受ケ損シ更メテ 1.B. ニ於テ殺セシトキハ

下ノ如シ  挾マレテ死セシトキハ其何レノ中間ナ

リシヤチ記ス即チ  ノ如シ

今此法式ヲ以テ記セル二三ノ例ヲ擧ンニ

 ハ初メ S.S. ニ打テルニ S.S. ノ過失ニ依リテ 1.B. ニ達シ

未タ 2.B. ニ達セサルニ次ノ打手亦 S.S. ニ打チ S.S. ハ是チ 2.B.

ニ投セルカ爲メニ遂ニ 2.B. ニ死セルナリ

 ハ初メ打テル時 C.F. ナ飛ヒ越シテ 3 Base Hit トナリ

テ満場ノ喝采ヲ博セシモ後 3.B. ニ於テ油斷セルカ爲メ

ニ P. ニ投セラレテ 3.B. ニ死セシナリ

今一表ヲ掲ケテ實例ヲ示セリ

前表ニ依レバ第九圖ニ至ルモ得点各十七即チ對仕合

トナレルニ双方協議ノ上一ト先ツ交授セルナリ

野球 終

版權所有

明治三十年七月二十日印刷
同 七月三十日發行

定價 十五錢

定價 十五錢

著作者 中馬庚

發行者 前川善兵衛
大阪市東區南久寶寺町四丁目十九番屋敷

印刷者 谷口默次
大阪市東區北久太郎町二丁目六十六番屋敷

賣捌所 美滿津商店
東京本郷區本郷五丁目

同 會社 普及舍
東京日本橋區吳服町

第三高等學校体操科教諭花岡朋太郎著

小學校用 遊 戲 法 全三冊 郵稅共 三拾六錢

普通 體 操 書 全二冊 郵稅共 五拾錢

相田與三郎譯補

歐 米 遊 戲 術 第一篇 郵稅共 五拾錢

抑モ ベースボール ● クリツケツト ● フ

一トボール ● 杯稱スル遊戯ハ古ク毆米各國青年者間ニ行ハ
歡娛遊樂ノ間ニ於テ身体ヲ強壯ニ筋骨ヲ逞ク機智ヲ敏捷ニ精神ヲ活潑ナ
ラシメ能ク一教ノ運動ヲ爲シ敵ト闘争ヲ逞ク制スルノ良習慣ヲ養生セソト
スルノ方便ナレバ學生諸君ノ必ス學バザルベカラザル技術ナリトス今ニ
三英書ヲ參酌シ傍ヲ知己外國人ニ質シ是ノ技ニ關スル渾テノ方法ヲ網羅
詳述シタルモノナレバ學生諸君ハ固ヨリ諸學校ニ備ヘテ至極緊要ノ參考
書ナリ希クハ御購讀アラソテ

第三高等學校体操科教諭花岡朋太郎著

小學校用 遊 戲 法 全三冊 郵稅共 三拾六錢

普通 體 操 書 全二冊 郵稅共 五拾錢

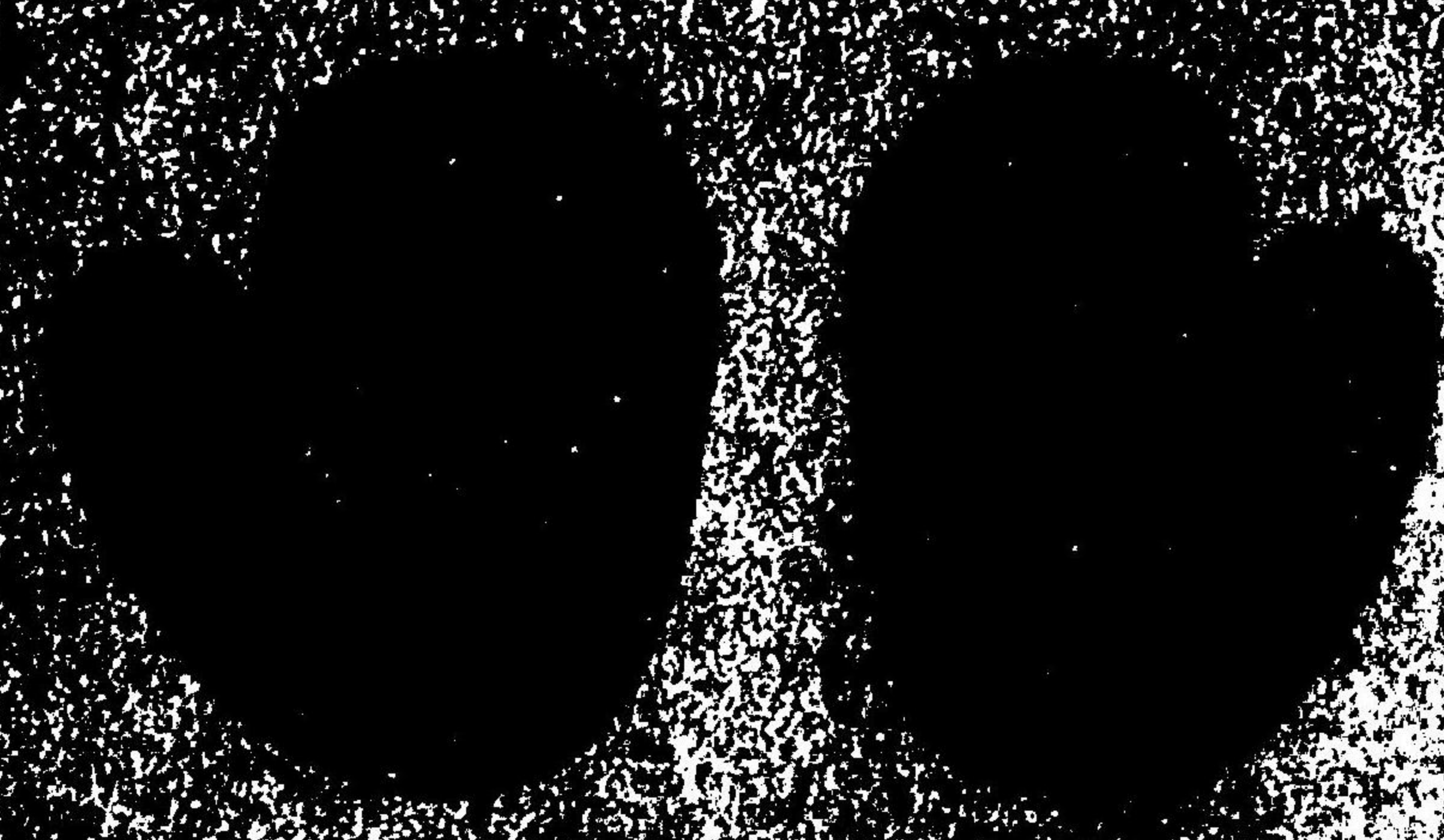
相田與三郎譯補

歐 米 遊 戲 術 第一篇 郵稅共 五拾錢

抑モ ベースボール ● クリツケツト ● フ

トボール ● 杯稱スル遊戯ハ古ク毬米各國青年者間ニ行ハ
歡娛遊樂ノ間ニ於テ身体ヲ強壯ニ筋骨ヲ逞ク機智ヲ敏捷ニ精神ヲ活潑ナ
ラシメ能ク一致ノ運動ヲ爲シ敵ト闘争ヲ逞ク制スルノ良習慣ヲ養生セント
スルノ方便ナレバ學生諸君ノ必ス學バザルベカラザル技術ナリトス今ニ
三英書ヲ參酌シ傍ヲ知已外國人ニ質シ是ノ技ニ關スル渾テノ方法ヲ網羅
詳述シタルモノナレバ學生諸君ハ固ヨリ諸學校ニ備ヘテ至極緊要ノ參考
書ナリ希クハ御購讀アラソコトナ

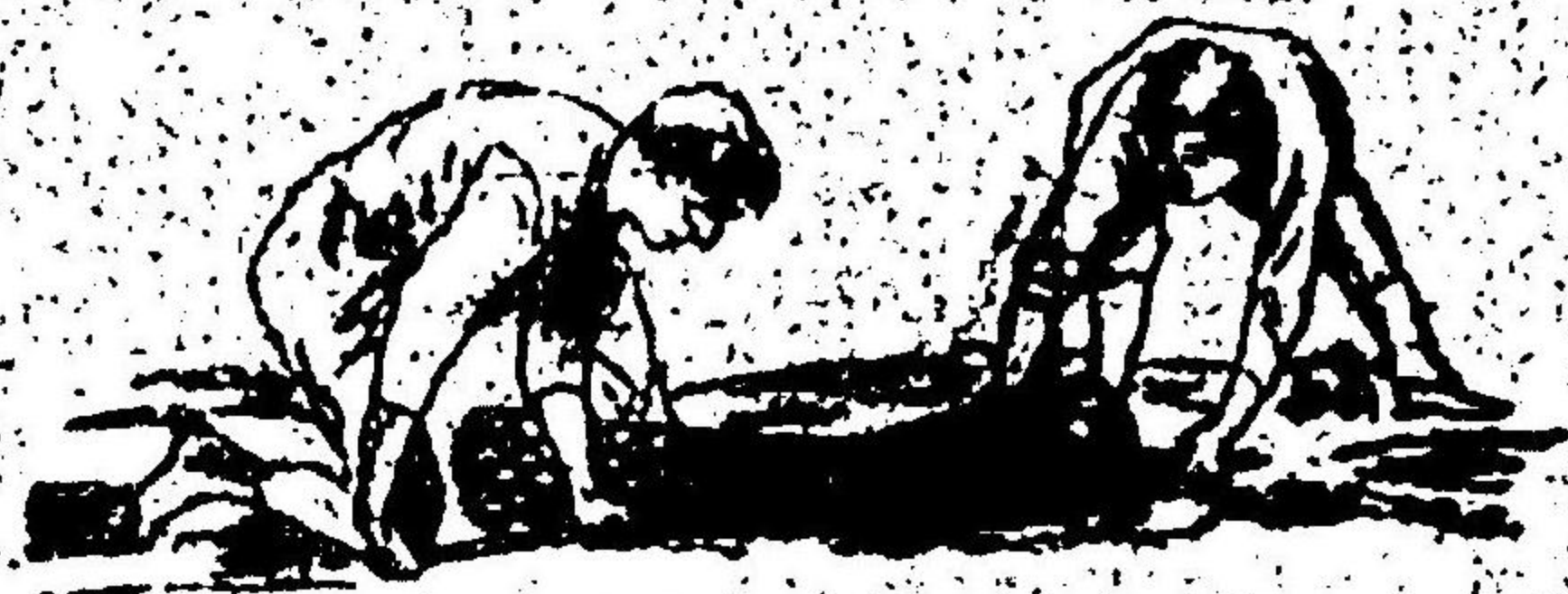




一、上等品
 二、中品
 三、下品
 四、劣品
 五、废品
 六、残品
 七、次品
 八、等品
 九、等品
 十、等品
 十一、等品
 十二、等品
 十三、等品
 十四、等品
 十五、等品
 十六、等品
 十七、等品
 十八、等品
 十九、等品
 二十、等品
 二十一、等品
 二十二、等品
 二十三、等品
 二十四、等品
 二十五、等品
 二十六、等品
 二十七、等品
 二十八、等品
 二十九、等品
 三十、等品
 三十一、等品
 三十二、等品
 三十三、等品
 三十四、等品
 三十五、等品
 三十六、等品
 三十七、等品
 三十八、等品
 三十九、等品
 四十、等品
 四十一、等品
 四十二、等品
 四十三、等品
 四十四、等品
 四十五、等品
 四十六、等品
 四十七、等品
 四十八、等品
 四十九、等品
 五十、等品



一、上等品
 二、中品
 三、下品
 四、劣品
 五、废品
 六、残品
 七、次品
 八、等品
 九、等品
 十、等品
 十一、等品
 十二、等品
 十三、等品
 十四、等品
 十五、等品
 十六、等品
 十七、等品
 十八、等品
 十九、等品
 二十、等品
 二十一、等品
 二十二、等品
 二十三、等品
 二十四、等品
 二十五、等品
 二十六、等品
 二十七、等品
 二十八、等品
 二十九、等品
 三十、等品
 三十一、等品
 三十二、等品
 三十三、等品
 三十四、等品
 三十五、等品
 三十六、等品
 三十七、等品
 三十八、等品
 三十九、等品
 四十、等品
 四十一、等品
 四十二、等品
 四十三、等品
 四十四、等品
 四十五、等品
 四十六、等品
 四十七、等品
 四十八、等品
 四十九、等品
 五十、等品



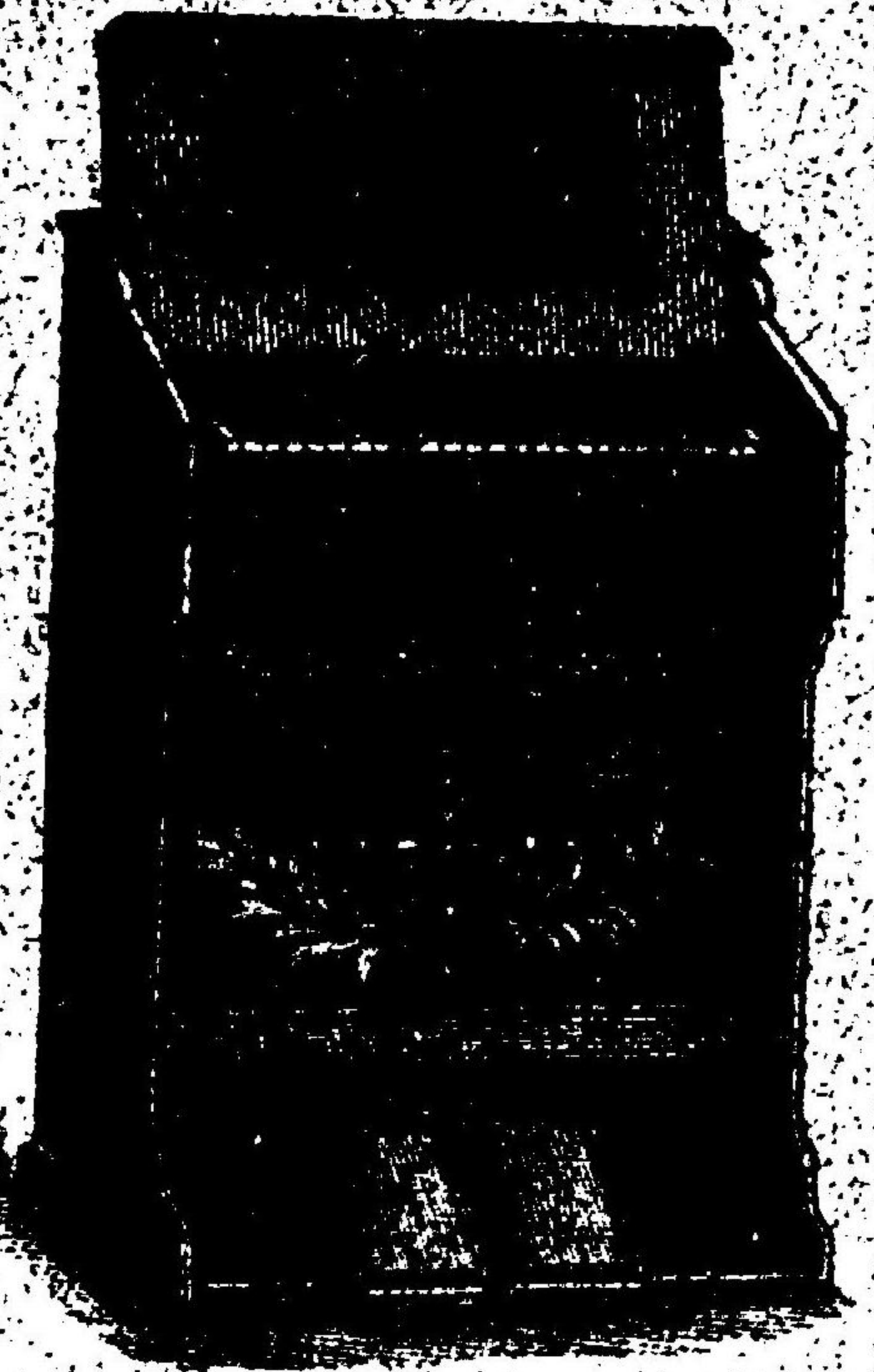
ラククラツス

此「ラククラツス」ノ義ハ最モ新規ノ戶外遊技具ニシ
テ其一組トスベキ「ラククラツス」ノ數ハ少數ニテモ
大數ニテモ競技出來候得共通常二十二人ニテ被成
候術所多ク候



保險附池內製風琴

十



池内製風琴ハ音調清雅ニシテ世ノ高評受タルモノ他ノ製造ノ
 風琴ト價額点ニ至ルモ大ニ競争致居候ニ付御入用ノ諸君郵税
 二圓五錢送リアレバ目錄送呈仕候

- 組ニ付小形七錢ヨリ各種
- 組ニ付九錢ヨリ各種
- 組ニ付十六錢ヨリ各種
- 組ニ付三十五錢ヨリ各種
- 組ニ付三十五錢ヨリ各種
- 組ニ付四十五錢以上各種
- 組ニ付四十八錢以上各種
- 喇叭 二圓五十錢
- 其他體操遊樂器械一切
- 大原定規及新式書版 各種
- 雙眼實體鏡 各種
- 輕便攜帶寫真器械 各種
- 東京村田製水彩畫繪具 各種
- 池内製ナルゲット 各種
- 舶來手風琴 各種
- 理化學器械及博物標品 各種

●池内製紙腔琴 各種

●池内製笛橫笛 各種

●小學校幼稚園設備器具其他教育ニ關スル器械類一切持合居候間多少ニ不
 論何物モランゴトヲ希望ス

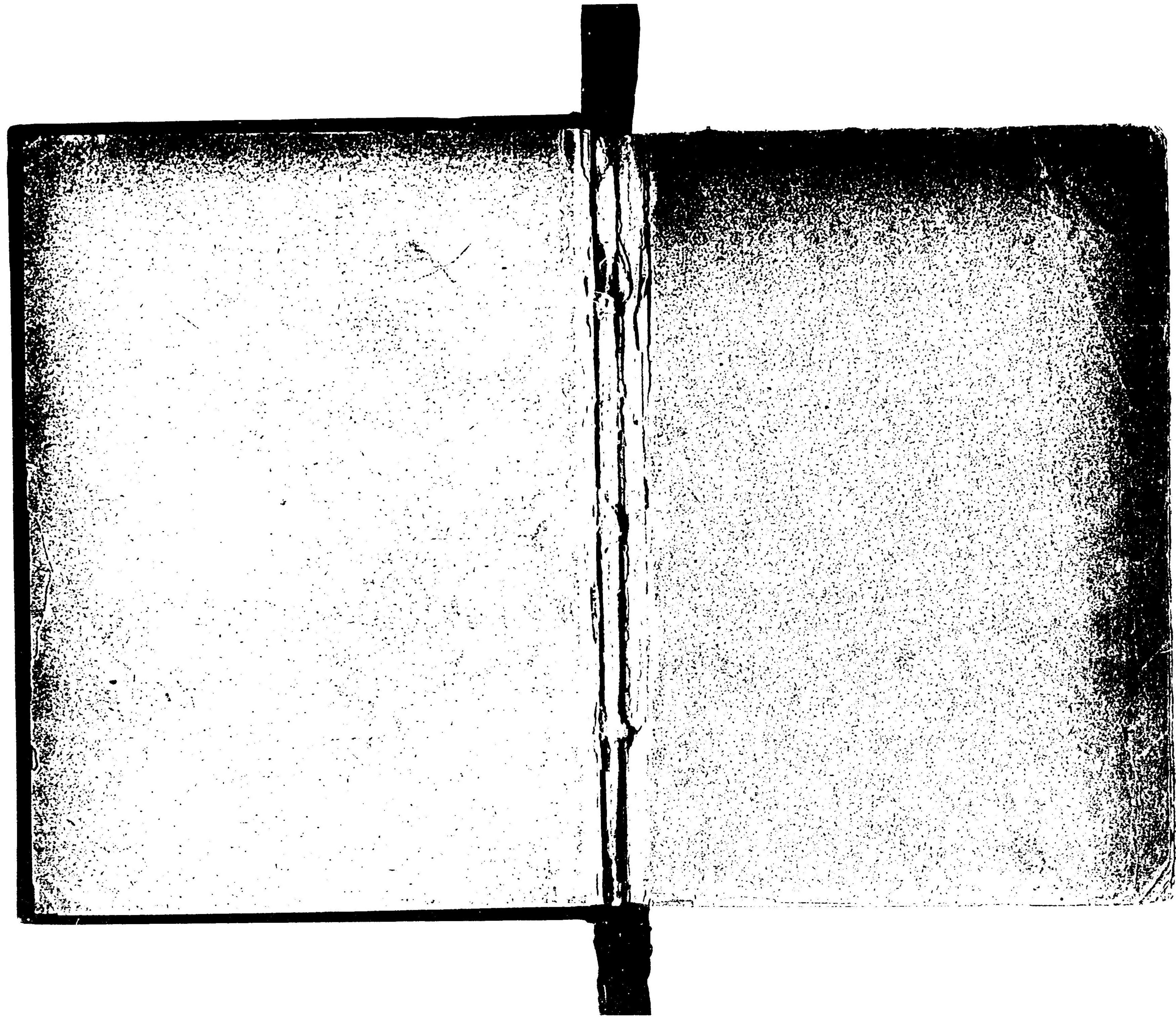
●教育用器械目錄御入用ノ諸君ハ郵券二錢送附アレバ贈呈ス

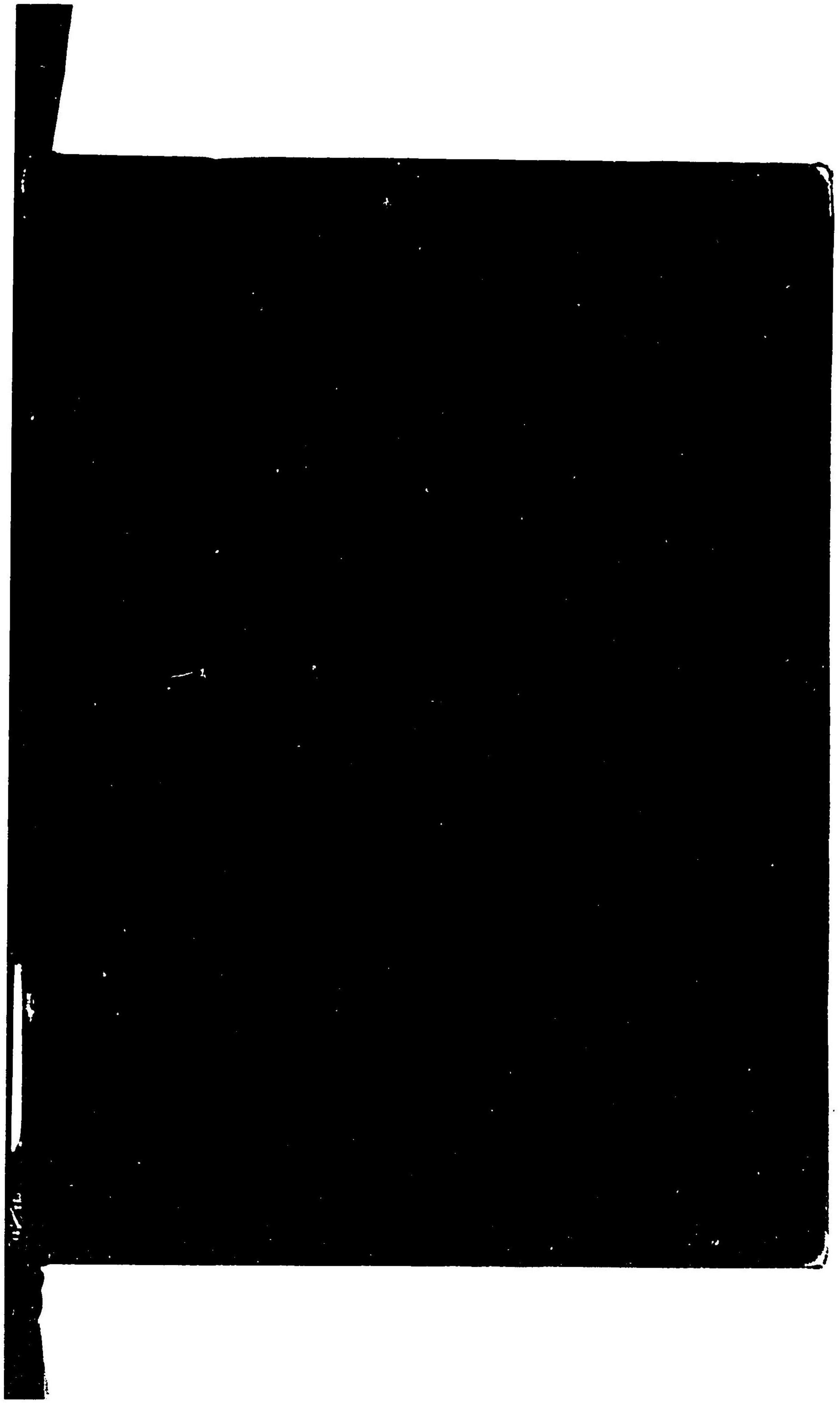
大阪市東區南久寶寺町四丁目十九番邸

池内製風琴製造販賣元

前川善兵衛教育用器械北店

十一





71
103

075750-000-4

71-103

野球

中馬 庚/著

M30

CEM-0713



